

**男女がともに  
輝くために**

美浦村男女共同参画  
～共に輝くみほの会～

問合せ 企画財政課  
☎029-885-0340(内)209

「風船爆弾」への想い

工藤 美恵

今夏、「ぼくは風船爆弾」が上映されると聞きました。

「風船爆弾」とは何だろうと思ひ、調べました。

『太平洋戦争末期、日本軍が開発し、気球に爆弾や焼夷弾を搭載した無人かつ無誘導の爆撃兵器である。日本本土から偏西風を利用して北太平洋を横断させ、時限装置による投下でアメリカ本土空襲を企図した。』とありました。

風船爆弾の主な材料は、和紙とコンニャク糊、水素ガスで、製造には繊細な作業が求められたため、学徒動員された女学生（当時10代半ば）が携わりました。

ここからは私の持論です。製造に携った女学生のことを考えると、太平洋戦争末期ですから戦況は既に絶望的。ご家族の中にも戦地に行かれて生死も分からない人もいたでしょう。お腹が空いて、空いて歯を喰いしぼりながら、言われるがままに風船爆弾の製造を行ったと思います。

約九千三百個の風船爆弾を作るのに、どれだけ時間を要したでしょう。休み時間も眠る時間もほとんど無く、働かされたと思います。私の母もそうですが、当時の軍国主義の日本に「青春」という大切な時を奪われたのです。

茨城県大津などの各海岸の基地から放たれた風船爆弾。風船ですから風に吹かれてどこに行くか分からない。こんな不確かなものはありません。それ故九千三百以上のぼる数を作ったのでしょうか、ほとんどが太平洋上に落下したか米軍に迎撃されたと思います。

そして何よりこの風船爆弾による犠牲者です。民間人6人ですが、たった6人と考えますか。妊娠中の牧師の妻と日曜学校の5人の子どもたち

です。考えて見てください。この女性が、自分の妻だったら。この子供たちが我が子だったら。

戦争ほど残酷で悲惨で愚かなものはありません。そして今でも世界では、60近くの国が戦争をしています。日本にとって「対岸の火事」と考えてはいけません。

この原稿を書くにあたり、インターネットで検索したりしましたが、スマホはとても便利で勉強にもなります。しかし同じそのスマホでSNSを使い、分断と対立を煽る風潮が世界的に拡大しています。

昭和初期にスマホはありませんが、新聞やラジオを使って虚偽・隠蔽で人間心理を操作していた戦前の日本とよく似ていると思います。同じ過ちを繰り返してはいけません。自分だけの幸福も他人だけの不幸もあります。

今ほど人間の生命を尊び、自他共の幸福を願う「共生社会」「包摂社会」を構築する好機はありません。

この「ぼくは風船爆弾」をお一人、お一人が世界平和を願いながら視聴いただけたら、この上ない幸せです。



みほ文芸

正調俚謡 日和吟社 宇結比「は・ね・つ・き」

春が来るまで眠っておくれついに年越し北の熊初日拜んで願うは一つ続く健康希望する  
羽目を外して寝坊も続き遂に会社を期限切れ晴れた元日願いをかけて強く誓った君と僕話へたでも根明の友が次は勝利と決めた道箱根走れて願いが叶う繋ぐタスキに気を入れて初日向って願いを込めてつたえ羽ばたく希望の日晴れて結婚願いが叶い遂にゴールの今日の式母の手仕事年中行事継いだおせちにきなこ餅腹の脂肪が燃焼せずに積もる体形気も重い初日拜んで願った平和続く世界の消えぬ夢跳ねる馬年値上げが不安つもる赤字で気は沈む新春を迎えて願うは平和積もる不安に気がめいる走る箱根路願いはひとつ繋ぐ朝日が起爆剤母の長生き願いをこめて作る七草季の香り春はいつくる値上のラッシュユ官政策期待薄春が来た来た粘った孫について彼女も決めた腹春よ早よ来い寝床で食事汁が飛び散る今日もまた

二月の俳句（題 当季雑詠）

ブラットオレンジたわわ嫁に行くごし  
喜寿迎え如月の朝風馳む  
買い初めはきれいになると化粧品  
爺の声孫に負けじと鬼やらい  
色淡き草の覗きし雪崩跡  
臙月手を触れ仰ぐ別れ道  
独り居の友に甘味の寒見舞  
年増して忘れもの増す立春かな  
芝焼の跡黒々と芽吹き待つ  
御朱印が二つ増えたる初詣  
冬ざれや投げ捨てゴミの下着類

五十音順

- 石戸 葎華
- 伊藤 葉子
- 井戸 賀蘇道
- 上野 八千代
- 小園 江久美
- 門脇 悠美
- 木村 幸子
- 篠原 美千代
- 関根 秀子
- 高橋 一步
- 田島 草実
- 塚本 夏雲
- 沼寄 朋香
- 長谷川 悦子
- 増尾 青蓮
- 山岡 亜子
- 山崎 笑子
- 山崎 泰弘
- 五十音順
- 市川 紀行
- 海道 民子
- 新宮 和子
- 高柳 幸子
- 田島 早苗
- 中島 輝子
- 長田 敏笑
- 増尾 尚子
- 松葉 統子
- 村崎 典子
- 山口 美代子